

葉面  
散布用肥料

ヤニフキ果防止・品質向上に

好評の

ソージェン<sup>®</sup>

Foliar Applied Fertilizer SOGEN

(特許第1680756号)

うめ  
専用

## 成分

保証成分 (%)						配合成分 (%)			
窒素	りん酸	加里	苦土	マンガン	ほう素	鉄	銅	亜鉛	モリブデン
5.0	4.0	3.0	1.0	0.45	3.00	0.10	0.03	0.08	0.200



株式会社 ニッソーグリーン

# 葉面散布用肥料

ほう素強化  
有機りん酸入り

# ローゲン®

うめ  
専用

## 特長

1. ほう素欠乏様症状である、うめヤニフキ果の発生防止に効果的です。
2. りん酸源として、米ぬかから抽出した有機りん酸（フィチン酸）を使用していますので、りん酸の肥効が高く、細胞分裂を活発にし、窒素との協力作用による果実肥大効果が顕著に現われます。
3. フィチン酸のキレート作用とすばらしい吸収性により、ほう素は効率よく吸収利用されます。
4. フィチン酸が分解されてできるミオ・イノシトールは、ほう素と同様、細胞壁の形成に関与し、細胞壁を強固にします。
5. うめに必要な各種の必須要素がバランスよく配合されていますので、較ぞろいをよくし、品質の向上に役立ちます。
6. 他の作物のほう素欠乏症の予防にも使用することができます。

## 使用方法

対象作物	肥効	希釈倍数 (倍)	10アール 散布液量 (ℓ)	散布時期および回数
うめ	ヤニフキ果防止 果実肥大 品質向上	単用の場合 500~600	成木園標準 500	収穫1ヶ月前から 10日おきに3回散布
		農薬混用の場合 600~800		
果樹	ほう素欠乏症防止 品質向上	500~600	成木園標準 500	発生初期から10日 おきに2~3回散布
果菜類	ほう素欠乏症防止 品質向上	600~800	200	発生初期から10日 おきに2~3回散布
葉菜類 根菜類	ほう素欠乏症防止 品質向上	600~800	150	発生初期から10日 おきに2~3回散布

## 注意事項

1. 農薬と混用する場合は、まず本剤を希釈してから農薬を加えてください。
2. 石灰硫黄合剤と混合すると有毒なガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。
3. ポリカーバメート水和剤、アンバム剤、CYAP水和剤と混用すると物性が悪くなり、沈殿を生じますので、混用しないでください。
4. 密栓して、直射日光をさけ、冷涼なところに保管してください。

## 試験成績

### 1. ソーゲンのうめヤニフキ果発生防止試験

#### ①試験方法

場所 和歌山県紀南農協新庄支所（福嶋氏園）

作物 うめ（古城）

規模 1区1樹2反復

散布 昭和63年4/19、4/28、5/10動力噴霧機で1樹当たり20ℓ散布

調査 6/1に各樹高さ1～1.5mの部位からランダムに1,000果調査

#### ②試験結果

供試葉面肥料 (使用濃度・回数)	2,000果当たりの 重量 (kg)	1果平均重 (g)	2,000果当たりの ヤニ果数 (個)	ヤニ果発生率 (%)
ソーゲン (600倍、3回)	45.90	23.0	11	0.55
無散布	43.70	21.9	23	1.35

#### ③考察

ソーゲン600倍3回散布区は、ヤニフキ果の発生が明らかに少なく、高い効果が認められた。葉害もなく、増収効果もあり、実用性が高いと思われる。

### 2. ソーゲンのうめ果実肥大効果試験

#### ①試験方法

場所 和歌山県紀南農協新庄支所（山根氏園）

作物 うめ（古城）20年生

規模 1区1樹3反復

散布 昭和63年4/19、4/28、5/10に動力噴霧機で1樹当たり20ℓ散布

調査 5/27に各樹高さ1～2m部位からランダムに300果調査

#### ②試験結果

供試葉面肥料 (使用濃度・回数)	900果当たりの 重量 (kg)	1果平均重 (g)	等級別果数 (個)					2L・3L サイズ (%)
			3L	2L	L	M	S	
ソーゲン (600倍、3回)	22.90	25.4	124	440	295	38	3	62.7
無散布	20.65	22.9	18	342	415	107	18	40.0

#### ③考察

ソーゲン600倍3回散布区は、無散布区に比べ総重量で11%、2L～3Lサイズ果で22.7%の増収となった。葉害もなく、果実肥大効果が認められた。

### 3. ソーゲンのうめヤニフキ果発生防止試験

#### ①試験方法

場所 福井県園芸試験場果樹課

作物 うめ（飛騨）

散布 昭和63年5/14、5/25、6/3に充分量散布

調査 6/14ヤニフキ果の発生状況を調査。生理落果率は5/14を100とし、6/7に調査

#### ②試験結果

供試葉面肥料 (使用濃度・回数)	生理落果率 (%)	健全果率 (%)	ヤニフキ果率 (%)		
			水浸状果	ヤニ噴出果	計
ソーゲン (500倍、3回)	12.0	88.8	4.5	6.7	11.2
無散布	17.8	81.1	6.0	12.9	18.9

#### ③考察

ソーゲン500倍3回散布区は、ヤニフキ果発生防止の効果が認められた。生理落果等に悪影響は認められなかった。

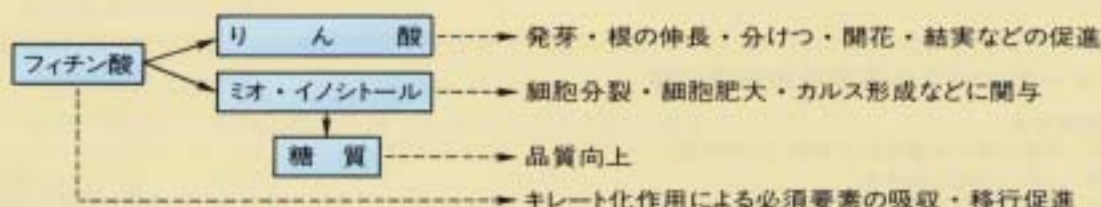
## フィチン酸とは……

フィチン酸は、植物体に吸収され、種子や花粉の発芽・根の伸長・分けつ・花芽の分化・開花・結実などに重要な役割を果たしている有機リン酸です。

このフィチン酸は、酵素により分解され、主としてりん酸とミオ・イノシトールになります。

りん酸は、植物のさまざまな代謝に利用されます。ミオ・イノシトールは、糖、脂質の代謝に重要な物質で、植物の細胞壁形成に関与し、細胞分裂・肥大及びカルス形成に不可欠な物質です。

一方、フィチン酸は強力なキレート化作用を有し、植物の必須要素を植物体内にとり込み、要素欠乏症または過剰症が起こらないようバランスをとる働きをしています。



## うめのヤニフキ果とは……

うめのヤニフキ果は成熟した果実に現れます。症状としては、果頂部のあたりが陥没し、その周りが褐変する場合と、果皮からヤニが吹き出す場合があります。これらの症状は、ほう素の欠乏が主な原因であると考えられています。



ヤニフキ果（写真提供：徳島県果樹試験場県北分場）

包装 1kg×10本



株式会社 ニッソーグリーン

<http://www.ns-green.com/>

本社 東京都台東区上野3-1-2 (秋葉原新高第一生命ビル5F)  
〒110-0005 TEL.03-5816-4351 FAX.03-5816-4355